

2022年2月8日

公益財団法人日本 AED 財団

緊急メッセージ

～コロナ禍で AED の使用率と救命率が低下～

コロナ禍でも AED を使って救命処置に協力を！

日本では、毎年、7万人を超える方が心臓突然死で亡くなっています。突然の心停止からの救命のカギを握るのは、心停止の現場に居合わせた方々による AED を用いた救命処置です。電気ショックの適応がある方に AED を使った電気ショックが行われると約半分の方を救命することが出来ます。AED による電気ショック実施率は少しずつ上昇し、2019 年には 5%を超えましたが、総務省消防庁の報告によると、コロナ禍の 2020 年には 4.2%と大幅に低下しており、合わせて救命率も低下していることがわかりました。コロナ禍における市民の救命処置への参加率および救命率の低下は世界中で問題になっています。

コロナ禍であっても、誰かが倒れたら、声をかけてあげてください。反応がなく、呼吸が普段どおりでなければ（判断に迷った時も）、119 番通報と AED の要請をしたうえで、胸骨圧迫（心臓マッサージ）を続け、到着次第、AED による電気ショックを行ってください。倒れている方の口をマスクや布などで覆うことで、感染のリスクを減らすことが出来ます（図）。

命や絆の大切さを見直す機会となるコロナ禍だからこそ、目の前で誰かが倒れたら、AED を使い、救命処置にご協力下さい。

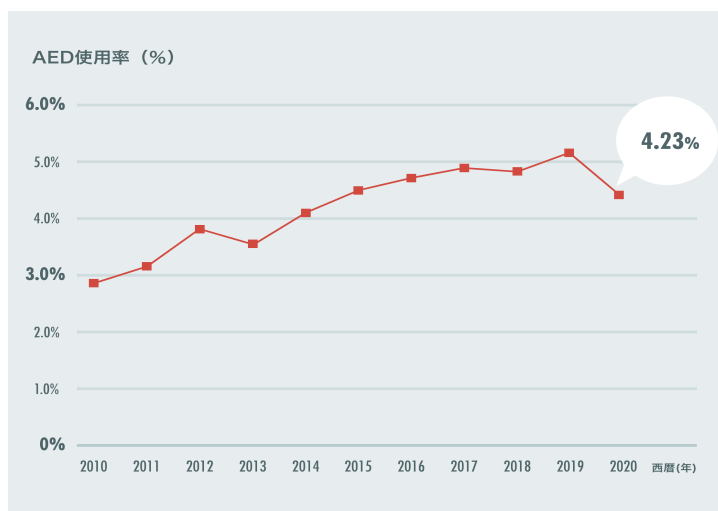
コロナ禍での救命処置の方法



<https://aed-zaidan.jp/knowledge/index.html#anchor3>

なお、日本 AED 財団では、コロナ禍でも安心して参加できるようにオンラインでの AED 講習会を開催しています。ご自宅から、会社から 60 分間で楽しく胸骨圧迫と AED について学ぶことができます。詳細は AED 財団の HP をご覧ください (<https://aed-zaidan.jp/workshop.html>)。

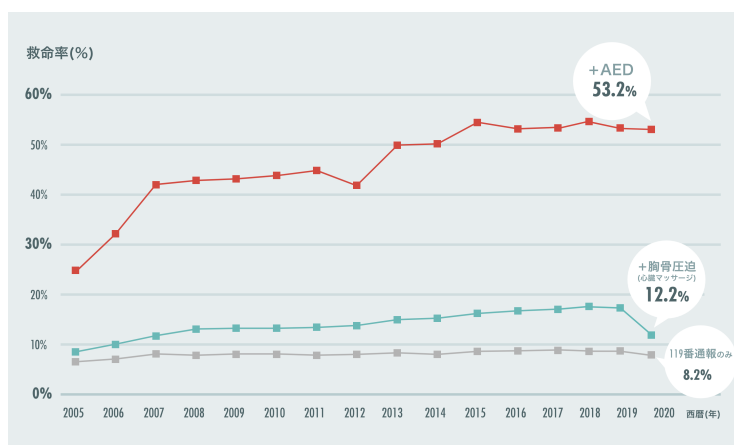
AED 使用の年次推移



(<https://aed-zaidan.jp/knowledge/index.html#anchor1>)

参考：総務省消防庁 令和 3 年版 救急救助の現況

救命率の年次推移

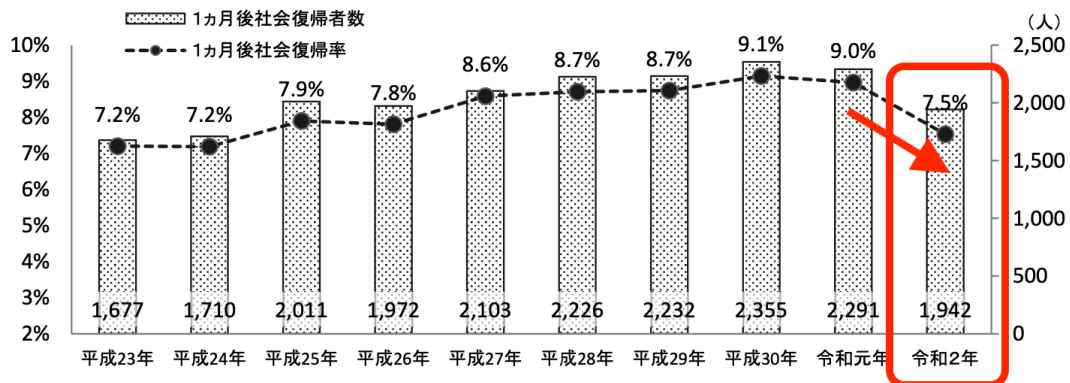


(<https://aed-zaidan.jp/knowledge/index.html#anchor1>)

参考：総務省消防庁 令和 3 年版 救急救助の現況

救命率の年次推移

第85図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1ヵ月後社会復帰率
(10ヵ年推移)



総務省消防庁 令和3年版救急救助の現況より 一部追記